

政策名	4環境にやさしい港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり		
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、就業者					
	サービスの対象物(何を)	名古屋港の環境					
	意図(どういう状態にしたいのか)	良好な状態に維持又は回復させる					
内容	環境と共生する港湾の形成に向け、利用や機能が低下している港湾緑地においては、高質化などによる機能向上や緑地の再生・創出を図るとともに、富栄養化が顕著である水域においては、浄化対策を行うなど、自然環境を良好な状態に維持、回復させるようにしていきます。						
	目標	名古屋港緑化計画における緑地整備面積281ha(平成20年度値:253ha)を目指します。					目標達成に影響する外的要因等
成果指標名	単位	実績				目標	指標の説明(式)
		H19年度	H20年度	H21年度	H24年度		
名古屋港緑化計画における緑地整備面積	実績目標	ha	255	253	253	282	
	達成率	%	90.4	89.7	89.7		
水域環境の把握件数	実績目標	件	60	60	60	60	10地点×6項目
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		

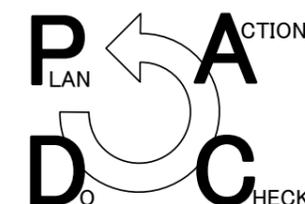
2. Do(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末まで の状況	今後の方向性		判断の理由
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の方向性	取組の方向性 成果 コスト	
				実績		目標						
○	緑地配置計画の策定 (港湾計画の策定) (4051701)	環境機能の向上、ふ頭特性を見据えた緑地の配置や機能の転換など、緑地の配置を検討します。	策定進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	20 20	6 26	4 30	40 70	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	緑地配置計画、海浜計画の策定は、港湾計画の改訂作業に入れないため遅れていますが、両計画とも良好な港湾空間の維持・創出に欠かせないものであるため。
				1,737	1,754	1,716	4,126					
	海浜計画の策定 (港湾計画の策定) (4051702)	名古屋港における海浜の現状分析を行い、他の施設計画との整合を取りながら、港内における海浜の配置を検討します。	策定進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	20 20	6 26	4 30	40 70	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	
	中川運河緑地(堀止地区)整備事業 【再掲】(4051703)	地域環境の向上を図るため、ささしまライブ24と連携を図りながら中川運河(堀止地区)の緑地整備を行います。規模:1.1ha	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)		0.8 0.8	1.3 2.1	5.1 7.2	100 (H25)	順調			【本掲】「12快適な港湾空間を形成する」(3041202)において評価
◎	中川運河(堀止地区等)水環境改善計画の策定 (4051704)	中川運河(堀止地区等)の水環境改善のための計画策定と事業化に向けた調整をします。	策定進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	25 25	25 50	37.5 87.5	6.3 93.8	100 (H23)	順調	継続	➡ ➡	都心と港を結ぶ中川運河の水質改善は、ニーズの高い事業であり、名古屋市と調整し、着実に進展させる必要があるため。
	港湾計画の変更に係る環境影響評価 (4051705)	港湾計画の変更箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、港湾計画を、環境に配慮した計画とするものです。	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	15 15	5 20	0 20	45 65	100(H23) 継続事業	遅れ	継続	➡ ➡	コストを削減しつつ、港湾計画の変更に対応し、必要な手続きを行っていくため。
	公有水面の埋立に係る環境影響評価 (4051706)	公有水面の埋立箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、公有水面の埋立事業を、環境に配慮した事業とするものです。 (第1貯木場南:H20~21、稲永ふ頭H21~23)	作業進捗率(%) (第1貯木場南・稲永ふ頭) (上段:単年度、下段:累計)		7.5 7.5	42.5 50.0	10.0 60.0	100 継続事業	順調	継続	➡ ➡	コストを削減しつつ、公有水面の埋め立てに対応し、必要な手続きを行っていくため。
	港内の水底質のモニタリング (4051707)	水域の水および水底土砂の調査を実施します。	測定計画に基づく調査の履行率 (%)	100 21,278	100 21,487	96.2 21,026	100 13,540	100 継続事業	順調	継続	➡ ➡	公共用水域水質調査は、事務改善を行い、コスト削減に努めていくため。
	大江川、7・8号地間運河の監視 (4051708)	公害防止事業により敷設されたアスファルトマットの状態を目視、潜水夫及び音響測深機等によって点検を行うとともに、年4回定点にて採水し有害物質等の調査を実施します。	異常個所の発見状況(回)	0 5,211	0 5,262	0 5,149	0 3,300	0 継続事業	順調	継続	➡ ➡	事務改善を行い、コスト削減に努めていくため。
	港湾環境啓発活動の推進 (4051709)	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。(※22年度はCOP10開催年)	パンフレット等の受取人数(人)	2,000 1,159	1,900 2,101	750 1,428	4,800 8,944	1,200 継続事業	やや遅れ	継続	➡ ➡	環境啓発活動は、コストを抑えた効果的な方法による必要があるため。
	金城ふ頭中央緑地(みなと振興交付金事業地区)整備事業【再掲】(4051710)	地域環境の向上を図るため、金城ふ頭中央緑地の整備を行います。規模:1.0ha	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)			8.3 8.3	50 58.3	100 (H23)	順調			【本掲】「12快適な港湾空間を形成する」(コード3041210)にて評価
	南5区Ⅲ工区緑地の基本計画の策定 (4051711)	南5区Ⅲ工区において緑地の基本計画を策定します。	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)				100 9,538	100 (H22)	終了			22年度で目標達成する見込みであるため。
注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。				施策コスト (事業費合計)	107,618	90,913	160,722	196,229				

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(取組)

取組の方向性			
成果	拡大	○	
	維持		
	縮小		
コスト			
判断の理由			
今後は、限られた財源の中で、県・市民の関心が高い環境関連施策の成果を上げることが求められています。一方で経常的な事務事業の効率化を進め、コストの縮減にも取り組んでいくため。			



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 港湾計画の策定に関する事務事業については、世界同時不況から港湾計画の基本となる貨物量等の計画指標を定めるのに時間を要することから、計画策定の手続きに入れていません。 緑地整備に関する事務事業は、地方財政の悪化から、スケジュールが遅れる懸念があります。 緑地整備の進展による維持管理費の増大が懸案となってきています。 南5区Ⅲ工区は廃棄物により埋め立てられており、その利用については処分場の廃止が前提となっていることから、暫定利用等を考慮した計画策定が必要です。 	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業構成は概ね妥当であると考えます。 	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> 港湾計画については、改訂の時期を関係者と調整していきます。 緑地は、温室効果ガス吸収源の役割を担っており、環境向上に寄与することから、財政状況を踏まえ優先順位をつけて、整備を進めていきます。維持管理についてもハード及びソフトの両面から費用の抑制を検討します。 中川運河(堀止地区等)水環境改善は、名古屋市と共同で進めている「中川運河再生検討」と連携を図って進めていきます。 南5区Ⅲ工区は、基本計画に則り事業化の検討を進めていきます。 	